

## A. 研究目的

「障害認定の在り方に関する研究」においては、障害認定とそれを障害当事者の利用資格認定に用いることの妥当性に関して検証し、医学を基盤に置く障害認定の意義、必要性をエビデンスに基づき提言することを目的としている。

障害認定とそれを障害当事者の利用資格認定に用いることの妥当性に関して検証していくためには、現在の障害認定制度において障害認定を受けた者の日常生活や社会生活における状態像を把握するとともに、これらの者が具体的に障害者手帳を用いてどのようなサービスや支援をどのくらい利用しており、さらにどのようなニーズを有しているかを把握するなど、データを集積の上、実証的に分析を行っていく必要がある。

このため、本研究では、平成 22 年度において、障害認定の状況、日常生活や社会生活における能力や活動の状況、サービスの利用状況やニーズの状況等を総合的に把握することができるよう、調査票を設計し、調査を実施した。今年度においては、昨年度の当該調査の結果について集計、分析を行った上で、さらに調査対象を追加し、最終的に二次にわたる調査の結果を集計、分析したものである。

## B. 研究方法

### C. 研究結果

#### 1. 一次調査の概要

##### (1) 趣旨

一次調査は、「障害認定の在り方に関する研究」の一環として、どのような障害のある者が具体的にどのようなサービスをどれくらい利用しているか、また、日常生活や社会生活においてどのような支障があるか、どのような支援やサービスを必要としているか等を調査し、これにより、障害の状況と、日常生活や社会生活における能力や活動の状況、サービスの利用やニーズとの関係性等を分析し、障害認定とその利用のあり方に関する研究の基礎資料とすることを目的としていた。

##### (2) 調査の概要

一次調査は、国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局及び横浜市総合リハビリテーションセンター（以下「一次調査実施機関」とする。）の協力を得て、当該調査実施機関を利用する障害者を対象として実施した。

##### (一次調査の対象者)

- ・ 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局：89名
  - ・ 横浜市総合リハビリテーションセンター：84名
- 合計：173名

##### (3) 調査の実施手順

- ① 研究代表者から一次調査実施機関に対して調査への協力を依頼した。
- ② 一次調査実施機関においては、本研究の研究者が中心となり、調査対象者の選定を行

い、調査を実施した。(その際、必要に応じて、調査協力者の委嘱を行った。)

- ③ 一次調査実施機関においては、調査対象となる利用者に対し、担当ワーカー等が調査の内容を口頭で説明し、協力の同意が得られた者のみ調査を実施した。また、調査用紙への記載が困難な者については、利用者の了解を得て、担当ワーカー等が聴き取りにより記入を行った。視覚障害等により代筆が必要な場合や、担当ワーカー等が聴き取りによって記入を行う場合には、文書による同意書を取得した。
- ④ 一次調査実施機関における調査の平仄を合わせるために、調査票の記入の手引きを作成した。

#### (4) 調査内容

本調査における調査項目は以下のとおりである。(調査票は平成 22 年度報告書に掲載)

- ① 基本属性・障害の状況
  - ・年齢
  - ・性別
  - ・世帯・家族の状況
  - ・障害者手帳
  - ・障害程度区分
  - ・障害の原因
- ② 日常生活・社会生活の状況
  - ・日常生活での支障
  - ・就労の状況
  - ・外出の状況
  - ・医療の状況
- ③ 各種サービス・支援措置の利用
  - ・福祉サービス
  - ・障害者手帳の利用
  - ・その他

#### (5) 調査の集計結果

本調査の集計結果の概要は以下のとおりである。

- ①性別：男性 132 名、女性 41 名
- ②障害種別：視覚障害 15%、聴覚・平衡機能障害 4%、音声・言語・そしゃく機能障害 6%、肢体不自由 76%、内部障害 6% (複数回答あり)
- ③ 障害等級：1 級 105 名、2 級 39 名、3 級 14 名、4 級 3 名、5 級 1 名、6 級 4 名、不明 7 名
- ④障害程度区分  
：認定を受けている者 77 名  
内訳 区分 1 4 名、区分 2 12 名、区分 3 10 名、区分 4 13 名、

区分5 15名、区分6 12名、不明 11名

## 2. 二次調査の概要

### (1) 趣旨

二次調査は、一次調査の対象が、障害種別では肢体不自由が多く内部障害が少なかったこと及び障害等級では重度の者に偏っていたことから、調査目的を達成するためには、内部障害などの多様な障害種別や中度・軽度障害者に対象を拡大するべきであると判断し、実施したものである。したがって、調査の趣旨・目的は一次調査と同様である。

### (2) 調査の概要

二次調査は、横浜市総合リハビリテーションセンター、北里大学病院、函館視力障害者センター、千葉リハビリテーションセンター、宮城リハビリテーション支援センター、埼玉県総合リハビリテーションセンター、兵庫県立総合リハビリテーションセンター、広島市総合リハビリテーションセンター（以下「二次調査実施機関」とする。）の協力を得て、当該調査実施機関を利用する障害者を対象として実施した。

#### (二次調査の対象者)

・ 横浜市総合リハビリテーションセンター	: 23名
・ 北里大学病院	: 107名
・ 函館視力障害者センター	: 15名
・ 千葉リハビリテーションセンター	: 12名
・ 宮城リハビリテーション支援センター	: 20名
・ 埼玉県総合リハビリテーションセンター	: 13名
・ 兵庫県立総合リハビリテーションセンター	: 18名
・ 広島市総合リハビリテーションセンター	: 14名
	合計: 222名

### (3) 調査の実施手順

### (4) 調査内容

二次調査における調査の実施手順及び内容は、いずれも一次調査と同様である。

### (5) 調査の集計結果（参考資料1を参照）

一次調査及び二次調査（調査全体）の集計結果の主な項目の結果は以下のとおりである。

- ①性別：男性 284名、女性 109名、不明 2名
- ②障害種別：視覚障害 11%、聴覚・平衡機能障害 5%、音声・言語・そしゃく機能障害 3%、肢体不自由 57%、内部障害 29%（複数回答あり）
- ③障害等級：1級 245名、2級 65名、3級 34名、4級 21名、5級 6名、6級 11名、不明等 13名
- ④障害程度区分：認定を受けている者 117名

内訳 区分1 9名、区分2 18名、区分3 19名、区分4 15名、  
区分5 17名、区分6 17名、不明 22名

#### D. 考察

今回の調査の結果（一次・二次）について、「基本属性・障害の状況」、「日常生活・社会生活の状況」、「各種サービス・支援措置の利用」のそれぞれの項目ごとに、概要を述べ、分析・考察していくこととする。

##### 1. 基本属性・障害の状況

基本属性・障害の状況については、主要な項目の結果については、上記3（5）のとおりである。今回の調査では、一次調査が国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局及び横浜市総合リハビリテーションセンターの利用者を対象としていたため、二次調査を実施することとなった。この結果、全国のリハビリテーションセンター利用者に係るデータを収集することとなり、対象も重度の者から軽度の者まで幅広く、障害種別に関しても感覚障害、肢体不自由、内部障害という代表的なものについての状況を総合的に把握することができたと考えている。

また、3（5）の項目以外について触れると、以下の通りであった。

- ・ 世帯・家族状況については、一人暮らしが 22.5%、家族と同居する者が 77.5%であったが、このうち世帯主が 37.5%、他の家族から扶養を受ける者が 40.1%であった。
- ・ 他の障害との重複については、手帳所持の有無を確認したところ、療育手帳所持者（知的障害者）が 26 名、精神障害者保健福祉手帳所持者が 10 名であった。
- ・ 障害の原因については、病気によるものが 209 名、事故・けがによるものが 86 名、先天性のものが 63 名、その他が 6 名、わからないという回答が 32 名であった。
- ・ 障害の時期については、6 歳未満が 82 名、6 歳以上 18 歳未満が 34 名、18 歳以上 65 歳未満が 252 名、65 歳以上が 24 名であった。

以上の結果は、参考資料 2-1 にまとめている。

調査から得られた結果は以上の通りであったが、これらについてクロス集計をした結果が参考資料 2-2 である。

第一に、障害等級と障害程度区分の関係についてクロス集計を行った。一部の項目については障害等級の軽重と障害程度区分の軽重が逆転しているようにも見えるが、全体としては、有意性があるという結果が得られた。障害等級の基準と障害程度区分の基準とはそれぞれ別個の制度により設けられて運営されているが、相互に関係性を有することができる。

第二に、障害等級と障害種別の関係についてクロス集計を行った。一部の障害種別については事例数自体が少ないという問題があるものの、他の障害種別との相対的な関係で見ると、感覚障害については軽度の者が多く、内部障害、とりわけ心臓機能障害については、重度の者が多かった。また、肢体不自由については両者の中間という状況であ

った。これらについては、日常生活での支障との関係で後ほど考察を行う。

## 2. 日常生活・社会生活の状況

### (1) 日常生活での支障

日常生活での支障については、「食事をする」「食事の支度や後片づけをする」「衣服の着脱をする」「排せつをする」「入浴をする」「家の中を移動する」「身の回りの掃除、整理整頓をする」「洗濯をする」「日常の買い物をする」「金銭管理をする」「服薬管理をする」「自分の意思を伝える」「相手の意思を理解する」「医療的ケア」の14項目に関して調査を実施している。

当研究では、これらの調査項目について、障害等級ごとに整理を行い、その関係性を検証することとした。その結果が参考資料2-3である。

調査結果について概説すると、他人の援助無く一人で実施することについて困難があると、比較的多く回答した項目は、「食事の支度や後片づけをする」「身の回りの掃除、整理整頓をする」「洗濯をする」「日常の買い物をする」であった。また、障害等級との関係性については、全体を通じては重度の者ほど日常生活での支障が大きいという結果が出ている（有意性が見られた）。ただし、項目によっては、一部の等級について軽度の者ほど日常生活の支障が多く見られるものもあった。特に、6級については、本来最も軽度であるはずだが、ほとんどの項目で4級や5級よりも日常生活に支障のある者の比率が高かった。この点について、精査したところ、次のような事情があると考えられる。すなわち、もともと4級から6級までの者が他の障害等級に比較して少ないため、個別の障害者の事情に左右されやすい（6級については11名しかいないこと）ところ、6級の障害者について個別に確認してみると、精神障害や知的障害との重複障害者や80歳を超える高齢の障害者であって日常生活に支障のある者が複数名いた。これらの者の日常生活に支障があるのは、身体障害だけでなく他の障害や加齢も原因であると考えられる。なお、6級の障害者に係る障害種別は、聴覚・平衡機能障害が3名、肢体不自由が8名であった。

また、当研究では、障害種別ごとに障害等級と日常生活の支障との関係をクロス集計しており、視覚障害者、肢体不自由者、内部障害者の各障害種別ごとに障害等級と日常生活の支障との関係を整理した。その結果が参考資料2-4である。調査対象全体との関係で見ると、視覚障害者については、「食事の支度や後片づけをする」「日常の買い物をする」の二つの項目については他の障害種別よりも支障が大きいものの、それ以外の項目では他よりも支障が小さいか、ほぼ同等であった。また、肢体不自由者については、「自分の意思を伝える」「相手の意思を理解する」では、他の障害種別とほぼ同等であるものの、それ以外の項目ではいずれも他よりも支障が大きいとの結果になった。さらに、内部障害者については、肢体不自由者とは対照的に、「自分の意思を伝える」「相手の意思を理解する」では他の障害とは大差ないものの、これらの二項目以外では、他よりも支障が小さいとの結果になった。

このような調査結果となった原因については様々な要素が考えられるところである。視覚障害者については、生活上の訓練を行うことにより様々な機能を回復させることが可能である一方で、移動や複雑な動作を伴う行動には一定の制約が伴うことが考えられる。また、肢体不自由者については、車椅子や義手義足などの器具等を利用した場合であっても身体能力の喪失を補足することは容易ではないことが考えられる。最後に、内部障害者であるが、今回の調査では、心臓障害を有する者が大半であり、その多くが1級の身体障害者である。近年では、埋込型ペースメーカーなどこれらの者に対する装置の開発が進んでおり、その結果、日常生活上の支障が大幅に軽減していると考えられる。

## (2) 就労の状況

就労の状況については、「収入のある仕事の状況」、「仕事をしていない最大の理由」、等について調査している。その結果が参考資料2-5である。

当研究では、収入のある仕事の状況について、障害等級とのクロス集計を行ったが、1級が最も就業率が高く(33%)、次いで4級(29%)、6級(27%)の順であった。逆に最も低いのは3級(9%)であり、等級との関係性は見られなかった。また、仕事をしていない最大の理由については、「仕事を探している(又は職業訓練中である)」と答えた者が最多(21%)であり、次いで「障害が重いため」「その他」(17%)、「高齢のため」(16%)の順であった。なお、収入のある仕事をしていない者のうち収入のある仕事を希望する者の割合は、67%であり、無職の在宅障害者のうちの大半が仕事に対する意欲があることが分かった。

## (3) 外出の状況

外出の状況については、「最近6カ月の外出状況」、「外出時に必要な他者の支援」及び「外出時に一番困ること」について調査している。その結果が参考資料2-6である。

「最近6カ月の外出状況」については、「ほぼ毎日」が最多で(41%)、次いで「1週間に数日程度」(24%)、「1週間の半分以上」(16%)であった。在宅障害者でリハビリテーション利用者が調査対象の中心であるため、外出の頻度が高く、積極的な行動を取っていることがうかがえる。また、「外出時に必要な他者の支援」については、「一人で外出できる」者が49%いる一方で、24%が「いつも支援が必要」と回答し、「近くや場所によっては一人でいけるが、場所によっては支援が必要」と回答した者も23%に上った。さらに、「外出時に一番困ること」については、「特に困らない」が最多(36%)であったが、次いで「外出のために他の人の支援の確保が必要である」(21%)、駅などの設備の利用に不便がある」(15%)の順であった。全体としては、在宅障害者が積極的に外出する一方で、約半数の者が外出に他者の支援が必要であり、そのことが実際の負担になっていることが判明したといえることができる。なお、障害等級とのクロス集計を行ったが、1級や2級の障害者でもほぼ毎日外出する者が他の等級と同等かそれ以上に存在しており、障害等級との相関関係は見られなかった。

## (4) 医療の状況

医療の状況については、「最近6カ月の医療機関受診頻度」について調査している。調査の結果、最多は「1カ月に1回程度」であり(47%)、次いで「3カ月に1回程度」(18%)、「2週間に1回程度」(18%)であった。逆に1週間に1回以上利用する者は、全体でも9%しかいなかった。また、医療機関にかかっていない者が4%いた。

### 3. 各種サービス・支援措置の利用

#### (1) 福祉サービス

福祉サービスについては、「最近6カ月の利用状況」、中でも「ホームヘルプサービス」、「通所サービス」及び「移動支援」についての利用状況、「公費負担医療制度の利用状況」、「補装具の交付状況」及び「今後新たに利用したい福祉サービス」について調査を実施した。その結果が参考資料2-7である。

「最近6カ月の利用状況」については、利用した障害者は、221名(56%)であり、利用したいが利用していない障害者が4名(1%)である。利用した福祉サービスで最も多いのが自立訓練の78名(20%)であり、以下、施設入所が70名(18%)、ホームヘルプサービスが50名(13%)、通所サービスが45名(11%)、就労支援が43名(11%)となっている。「ホームヘルプサービス」の利用状況については、利用者50名中最多が毎日利用する者で18名(36%)、次いで1週間に2~3回程度の利用が16名(32%)で、これらを含めて1週間に1回以上利用する者が47名(94%)となっている。「通所サービス」の利用状況については、1週間に2~3回程度の利用が20名(44%)で最多であり、以下1週間に1回程度が8名(18%)、1週間に4~6回程度が7名(16%)の順である。1週間に1回以上の利用者が38名(84%)となっている。「移動支援」については、1週間に2~3回程度が8名(30%)、不定期が5名(19%)、1カ月に1回程度が4名(15%)の順である。1週間に1回以上の利用者は16名(59%)と他のサービスほど利用の場合の頻度が高くない。なお、これらの福祉サービスについては、障害等級とのクロス集計を行っているが、全体としては特定の障害等級への利用集中は見られない。

「公費負担医療制度の利用状況」については、272名(69%)が利用しており、その中で最多は「市区町村の障害者医療費助成制度」で、222名(82%)と大半を占めている。以下は、生活保護26名(10%)、自立支援医療20名(7%)の順である。障害等級とのクロス集計では、障害等級が重いほど利用比率が下がる傾向(逆相関)が見られている。

「補装具の交付状況」については、224名(57%)が交付を受けており、対象品目では車いすが120名(54%)で最多となっており、以下、装具が90名(40%)、電動車いすが29名(13%)、盲人安全つえが25名(11%)、歩行補助つえが22名(10%)となっている。障害等級とのクロス集計では、1級については受けていない者も4割程度存在するが、その他の等級を通じてみると重度の者ほど利用比率が高い傾向がうかがえた。

「今後新たに利用したい福祉サービス」(三つまで選択可)では、日常生活用具の給付が58名(15%)、移動支援が53名(13%)、補装具の支給が51名(13%)、ホームヘルプサ

ービスが 47 名（12%）、就労支援及び公費負担医療制度が 45 名（11%）となっており、特定のサービスへの集中ではなく、多様なサービスに分散する傾向が見られる。

### （2）障害者手帳の利用

障害者手帳の利用については、直近の 1 年間で障害者手帳を提示して利用したことがあるサービスの度数を調査したところ、交通運賃の減免が 235 名（60%）、自動車税等の減免が 188 名（48%）、福祉タクシー制度が 158 名（40%）、所得税、住民税の障害者控除が 156 名（40%）、公共施設やレジャー施設の利用の割引が 139 名（35%）となっている。このように、障害者手帳に基づく制度については、利用率は比較的高く、障害者の自立に一定の役割を果たしていると評価することができる。なお、「交通運賃の減免状況」では、減免を受けている者で最も多いのが 1,000 円未満の 99 名（25%）であり、次いで 1,000 円以上 3,000 円未満の 77 名（19%）である。10,000 円以上の減免を受けている者は、14 名（6%）しかいない。また、「交通運賃の減免」「福祉タクシーの利用」及び「公共施設やレジャー施設の利用の割引」について、障害等級ごとの利用状況についてクロス集計したところ、それぞれ特徴が異なっており、障害等級との明確な相関は見られなかった。（参考資料 2－8）

### （3）その他

その他としては、「障害に起因する年金の受給状況」及び「仕事による収入の状況」について調査を実施した。その結果が参考資料 2－9 である。

「障害に起因する年金の受給状況」では、150 名（38%）の障害者が障害に起因する年金を受給していた。受給者のうち月額での最多は 7 万円以上 10 万円以下で 57 名（38%）であり、以下 10 万円以上 15 万円未満で 25 名（17%）、5 万円以上 7 万円未満で 23 名（15%）となっている。障害等級との関係では、障害が重い者ほど受給割合が高いとのクロス集計の結果が得られた。

「仕事による収入の状況」では、収入がある者が 125 名で、そのうち 1 カ月の収入水準では、最多が 20 万円以上 30 万円未満の 38 名（30%）で、以下 15 万円以上 20 万円未満の 18 名（14%）、3 万円未満の 14 名（11%）の順となっている。全般として、15 万円以上 30 万円未満に 56 名（45%）がいる一方で、10 万円未満に 31 名（25%）、50 万円以上が 12 名（10%）と分散傾向が強く出ている。また、作業所で働く者の割合が半分を占めており、正規職員等の一般就労を行う者とほぼ同程度であった。

## E. 健康危険情報

特になし。



# 参考資料1

## 統計量

### 年齢

度数	有効	394
	欠損値	1
平均値		39.95
標準偏差		9.035
最小値		19
最大値		54

年齢

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
0	0	0.00%	0.00%	0.00%
1	0	0.00%	0.00%	0.00%
2	0	0.00%	0.00%	0.00%
3	0	0.00%	0.00%	0.00%
4	0	0.00%	0.00%	0.00%
5	0	0.00%	0.00%	0.00%
6	0	0.00%	0.00%	0.00%
7	0	0.00%	0.00%	0.00%
8	0	0.00%	0.00%	0.00%
9	0	0.00%	0.00%	0.00%
10	0	0.00%	0.00%	0.00%
11	0	0.00%	0.00%	0.00%
12	0	0.00%	0.00%	0.00%
13	0	0.00%	0.00%	0.00%
14	0	0.00%	0.00%	0.00%
15	0	0.00%	0.00%	0.00%
16	0	0.00%	0.00%	0.00%
17	0	0.00%	0.00%	0.00%
18	0	0.00%	0.00%	0.00%
19	1	4.76%	5.26%	5.26%
20	0	0.00%	0.00%	5.26%
21	1	4.76%	5.26%	10.53%
22	0	0.00%	0.00%	10.53%
23	0	0.00%	0.00%	10.53%
24	0	0.00%	0.00%	10.53%
25	1	4.76%	5.26%	15.79%
26	0	0.00%	0.00%	15.79%
27	0	0.00%	0.00%	15.79%
28	0	0.00%	0.00%	15.79%
29	0	0.00%	0.00%	15.79%
30	0	0.00%	0.00%	15.79%
31	0	0.00%	0.00%	15.79%
32	1	4.76%	5.26%	21.05%
33	0	0.00%	0.00%	21.05%
34	0	0.00%	0.00%	21.05%
35	0	0.00%	0.00%	21.05%
36	0	0.00%	0.00%	21.05%
37	0	0.00%	0.00%	21.05%
38	0	0.00%	0.00%	21.05%
39	0	0.00%	0.00%	21.05%
40	3	14.29%	15.79%	36.84%
41	1	4.76%	5.26%	42.11%
42	2	9.52%	10.53%	52.63%
43	1	4.76%	5.26%	57.89%
44	3	14.29%	15.79%	73.68%
45	0	0.00%	0.00%	73.68%
46	1	4.76%	5.26%	78.95%
47	2	9.52%	10.53%	89.47%
48	1	4.76%	5.26%	94.74%
49	0	0.00%	0.00%	94.74%
50	0	0.00%	0.00%	94.74%

有効

	51	0	0.00%	0.00%	94.74%
	52	0	0.00%	0.00%	94.74%
	53	0	0.00%	0.00%	94.74%
	54	1	4.76%	5.26%	100.00%
	55	0	0.00%	0.00%	100.00%
	56	0	0.00%	0.00%	100.00%
	57	0	0.00%	0.00%	100.00%
	58	0	0.00%	0.00%	100.00%
	59	0	0.00%	0.00%	100.00%
	60	0	0.00%	0.00%	100.00%
	61	0	0.00%	0.00%	100.00%
有効	62	0	0.00%	0.00%	100.00%
	63	0	0.00%	0.00%	100.00%
	64	0	0.00%	0.00%	100.00%
	65	0	0.00%	0.00%	100.00%
	66	0	0.00%	0.00%	100.00%
	67	0	0.00%	0.00%	100.00%
	68	0	0.00%	0.00%	100.00%
	69	0	0.00%	0.00%	100.00%
	70	0	0.00%	0.00%	100.00%
	71	0	0.00%	0.00%	100.00%
	72	0	0.00%	0.00%	100.00%
	73	0	0.00%	0.00%	100.00%
	74	0	0.00%	0.00%	100.00%
	75	0	0.00%	0.00%	100.00%
	76	0	0.00%	0.00%	100.00%
	77	0	0.00%	0.00%	100.00%
	78	0	0.00%	0.00%	100.00%
	79	0	0.00%	0.00%	100.00%
	80	0	0.00%	0.00%	100.00%
	81	0	0.00%	0.00%	100.00%
	82	0	0.00%	0.00%	100.00%
	83	0	0.00%	0.00%	100.00%
	84	0	0.00%	0.00%	100.00%
	85	0	0.00%	0.00%	100.00%
	86	0	0.00%	0.00%	100.00%
	87	0	0.00%	0.00%	100.00%
	88	0	0.00%	0.00%	100.00%
	89	0	0.00%	0.00%	100.00%
	90	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	90.48%	100.00%	
欠損値	システム欠損値	2	9.52%		
合計		21	100.00%		

### 性別

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	男性	11	52.38%	57.89%	57.89%
	女性	8	38.10%	42.11%	100.00%
	合計	19	90.48%	100.00%	
欠損値	システム欠損値	2	9.52%		
合計		21	100.00%		

### 世帯・家族状況

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	一人暮らし	5	18.52%	26.32%	26.32%
	家族と同居(世帯主)	4	14.81%	21.05%	47.37%
	家族と同居(扶養)	10	37.04%	52.63%	100.00%
	合計	19	70.37%	100.0	
欠損値	システム欠損値	8	29.63%		
合計		27	100.00%		

### 同居家族人数

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	2人	5	4.67%	35.71%	35.71%
	3人	2	1.87%	14.29%	50.00%
	4人	4	3.74%	28.57%	78.57%
	5人	0	0.00%	0.00%	78.57%
	6人以上	3	2.80%	21.43%	100.00%
	合計	14	13.08%	100.00%	
欠損値	非該当	93	86.92%		
合計		107	100.00%		

### 所持している手帳の種類

		度数	列の合計 N %
所持している手帳の種類	身体障害者手帳	19	17.8%
	療育手帳	0	.00%
	精神障害者保健福祉手帳	0	.00%
	手帳はもっていない	0	0.00%

### 身体障害者手帳

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	0	0.00%	0.00%	0.00%
	はい	19	100.00%	100.00%	100.00%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### 療育手帳

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	100.00%	100.00%	100.00%
	はい	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### 精神障害者保健福祉手帳

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	100.00%	100.00%	100.00%
	はい	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### 手帳はもっていない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	100.00%	100.00%	100.00%
	はい	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### 身体障害者手帳等級

		度数		パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	0	62%	0.00%	0%	60.06%
	2	19	18%	59.38%	100%	160.06%
	3	0	10%	0.00%	0%	160.06%
	4	0	6%	0.00%	0%	160.06%
	5	0	2%	0.00%	0%	160.06%
	6	0	3%	0.00%	0%	100.0
	合計	19	100%	59.38%	100%	
欠損値	非該当	4		30.77%		
	システム欠損値	9		28.13%		
	合計	13		40.63%		
合計	32		100.00%			

### 手帳の障害の種別

		度数	列の合計 N %
手帳の障害の種別	視覚障害	5	15.63%
	聴覚・平衡機能障害	1	3.13%
	音声・言語・そしゃく機能障害	0	0.00%
	肢体不自由	13	40.63%
	心臓機能障害	0	0.00%
	呼吸器機能障害	0	0.00%
	じん臓機能障害	0	0.00%
	その他の内部障害	0	0.00%

### 視覚障害

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	14	53.85%	73.68%	73.68%
	はい	5	19.23%	26.32%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	非該当	7	26.92%		
合計		26	100.00%		

### 聴覚・平衡機能障害

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	18	69.23%	94.74%	94.74%
	はい	1	3.85%	5.26%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	非該当	7	26.92%		
合計		26	100.00%		

### 音声・言語・そしゃく機能障害

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	73.08%	100.00%	100.00%
	はい	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	非該当	7	26.92%		
合計		26	100.00%		

### 肢体不自由

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	6	23.08%	31.58%	31.58%
	はい	13	50.00%	68.42%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	非該当	7	26.92%		
合計		26	100.00%		

### 心臓機能障害

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	73.08%	100.00%	100.00%
	はい	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	非該当	7	26.92%		
合計		26	100.00%		

### 呼吸器機能障害

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	73.08%	100.00%	100.00%
	はい	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	非該当	7	26.92%		
合計		26	100.00%		

### じん臓機能障害

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	73.08%	100.00%	100.00%
	はい	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	非該当	7	26.92%		
合計		26	100.00%		

### その他の内部障害

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	73.08%	100.00%	100.00%
	はい	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	非該当	7	26.92%		
合計		26	100.00%		

### 障害程度区分認定

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	受けている	19	46.34%	100.00%	100.00%
	受けていない	0	0.00%	0.00%	100.00%
	申請中	0	0.00%	0.00%	100.00%
	申請したが認定が受けられなかった	0	0.00%	0.00%	100.00%
	わからない	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	46.34%	100.00%	
欠損値	複数回答	4	9.76%		
	システム欠損値	18	43.90%		
	合計	22	53.66%		
合計	41	100.00%			

### 区分

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	区分1	3	8.82%	21.43%	21.43%
	区分2	3	8.82%	21.43%	42.86%
	区分3	5	14.71%	35.71%	78.57%
	区分4	2	5.88%	14.29%	92.86%
	区分5	1	2.94%	7.14%	100.00%
	区分6	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	14	41.18%	100.00%	
欠損値	非該当	1	2.94%		
	システム欠損値	19	55.88%		
	合計	20	58.82%		
合計	34	100.00%			

### 障害の原因

		度数	列の合計 N %
障害の原因	病気	12	35.3%
	事故・けが	0	.0%
	先天性	6	17.6%
	その他	0	.0%
	わからない	1	2.9%

### 病気

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	7	36.84%	36.84%	49.71%
	はい	12	63.16%	63.16%	112.87%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### 事故・けが

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	100.00%	100.00%	75.43%
	はい	0	0.00%	0.00%	75.43%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### 先天性

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	13	68.42%	68.42%	82.86%
	はい	6	31.58%	31.58%	114.44%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	19	100.00%	100.00%	98.86%
	はい	0	0.00%	0.00%	98.86%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### わからない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	18	94.74%	94.74%	92.00%
	はい	1	5.26%	5.26%	97.26%
	合計	19	100.00%	100.00%	

### 時期

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	～6歳未満	7	31.82%	36.84%	36.84%
	6歳以上～18歳未満	0	0.00%	0.00%	36.84%
	18歳以上～65歳未満	12	54.55%	63.16%	100.00%
	65歳以上	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	86.36%	100.00%	
欠損値	システム欠損値	3	13.64%		
合計		22	100.00%		

### 食事をする

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	一人でできる	18	90.00%	100.00%	100.00%
	時間をかければ一人でできる	0	0.00%	0.00%	100.00%
	見守りや声掛けがあればできる	0	0.00%	0.00%	100.00%
	一部介助が必要	0	0.00%	0.00%	100.00%
	全部介助が必要	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	18	90.00%	100.00%	
欠損値	システム欠損値	2	10.00%		
合計		20	100.00%		

### 食事の支度や後片付けをする

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	一人でできる	7	33.33%	36.84%	36.84%
	時間をかければ一人でできる	4	19.05%	21.05%	57.89%
	見守りや声掛けがあればできる	0	0.00%	0.00%	57.89%
	一部介助が必要	3	14.29%	15.79%	73.68%
	全部介助が必要	4	19.05%	21.05%	94.74%
	経験がない・機会がない	1	4.76%	5.26%	100.00%
	合計	19	90.48%	100.00%	
欠損値	複数回答	2	9.52%		
合計		21	100.00%		



### 衣服の着脱をする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	一人で行える	14	70.00%	73.68%
	時間をかければ一人で行える	2	10.00%	84.21%
	見守りや声掛けがあればできる	1	5.00%	89.47%
	一部介助が必要	2	10.00%	100.00%
	全部介助が必要	0	0.00%	100.00%
	合計	19	95.00%	100.00%
欠損値	システム欠損値	1	5.00%	
合計	20	100.00%		

### 排泄をする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	一人で行える	17	89.47%	89.47%
	時間をかければ一人で行える	1	5.26%	94.74%
	見守りや声掛けがあればできる	0	0.00%	94.74%
	一部介助が必要	1	5.26%	100.00%
	全部介助が必要	0	0.00%	100.00%
	合計	19	100.00%	100.00%

### 入浴をする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	一人で行える	11	52.38%	57.89%
	時間をかければ一人で行える	1	4.76%	63.16%
	見守りや声掛けがあればできる	0	0.00%	63.16%
	一部介助が必要	4	19.05%	84.21%
	全部介助が必要	3	14.29%	100.00%
	合計	19	90.48%	100.00%
欠損値	複数回答	1	4.76%	
	システム欠損値	1	4.76%	
	合計	2	9.52%	
合計	21	100.00%		

### 家の中を移動する

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	一人で行える	14	66.67%	73.68%
	時間をかければ一人で行える	2	9.52%	84.21%
	見守りや声掛けがあればできる	1	4.76%	89.47%
	一部介助が必要	2	9.52%	100.00%
	全部介助が必要	0	0.00%	100.00%
	合計	19	90.48%	100.00%
欠損値	複数回答	1	4.76%	
	システム欠損値	1	4.76%	
	合計	2	9.52%	
合計	21	100.00%		

### 身の回りの掃除、整理整頓をする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	一人でできる	7	31.82%	36.84%	36.84%
	時間をかければ一人でできる	4	18.18%	21.05%	57.89%
	見守りや声掛けがあればできる	0	0.00%	0.00%	57.89%
	一部介助が必要	5	22.73%	26.32%	84.21%
	全部介助が必要	3	13.64%	15.79%	100.00%
	経験がない・機会がない	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	86.36%	100.00%	
欠損値	複数回答	3	13.64%		
合計	22	100.00%			

### 洗濯をする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	一人でできる	8	36.36%	42.11%	42.11%
	時間をかければ一人でできる	2	9.09%	10.53%	52.63%
	見守りや声掛けがあればできる	0	0.00%	0.00%	52.63%
	一部介助が必要	4	18.18%	21.05%	73.68%
	全部介助が必要	4	18.18%	21.05%	94.74%
	経験がない・機会がない	1	4.55%	5.26%	100.00%
	合計	19	86.36%	100.00%	
欠損値	複数回答	2	9.09%		
	システム欠損値	1	4.55%		
	合計	3	13.64%		
合計	22	100.00%			

### 日常の買い物をする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	一人でできる	3	11.54%	15.79%	15.79%
	時間をかければ一人でできる	5	19.23%	26.32%	42.11%
	見守りや声掛けがあればできる	2	7.69%	10.53%	52.63%
	一部介助が必要	8	30.77%	42.11%	94.74%
	全部介助が必要	1	3.85%	5.26%	100.00%
	経験がない・機会がない	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	複数回答	3	11.54%		
	システム欠損値	4	15.38%		
	合計	7	26.92%		
合計	26	100.00%			

### 金銭管理をする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	一人でできる	13	50.00%	72.22%	72.22%
	時間をかければ一人でできる	1	3.85%	5.56%	77.78%
	見守りや声掛けがあればできる	1	3.85%	5.56%	83.33%
	一部介助が必要	1	3.85%	5.56%	88.89%
	全部介助が必要	2	7.69%	11.11%	100.00%
	経験がない・機会がない	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	18	69.23%	100.00%	
欠損値	複数回答	2	7.69%		
	システム欠損値	6	23.08%		
	合計	8	30.77%		
合計	26	100.00%			

### 服薬管理をする

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	一人でできる	15	65.22%	78.95%	78.95%
	時間をかければ一人でできる	0	0.00%	0.00%	78.95%
	見守りや声掛けがあればできる	1	4.35%	5.26%	84.21%
	一部介助が必要	1	4.35%	5.26%	89.47%
	全部介助が必要	1	4.35%	5.26%	94.74%
	経験がない・機会がない	1	4.35%	5.26%	100.00%
	合計	19	82.61%	100.00%	
欠損値	複数回答	1	4.35%		
	システム欠損値	3	13.04%		
	合計	4	17.39%		
合計	23	100.00%			

### 自分の意志を伝える

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	誰にでも伝えることができる	14	53.85%	73.68%	73.68%
	特定の人には伝えることができる	4	15.38%	21.05%	94.74%
	特定の人に対して特定の事柄についての 意図は理解することができる	1	3.85%	5.26%	100.00%
	手話通訳等の介助があれば相手の意図を 理解できる	0	0.00%	0.00%	100.00%
	伝えることができない	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	複数回答	2	7.69%		
	システム欠損値	5	19.23%		
	合計	7	26.92%		
合計	26	100.00%			

### 相手の意志を理解する

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	誰の意図でも理解することができる	17	65.38%	89.47%	89.47%
	特定の事柄については理解することができ ず	1	3.85%	5.26%	94.74%
	特定の人特定の事柄についての意図は 理解することができる	1	3.85%	5.26%	100.00%
	手話通訳等の介助があれば相手の意図を 理解できる	0	0.00%	0.00%	100.00%
	理解することができない	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	73.08%	100.00%	
欠損値	複数回答	3	11.54%		
	システム欠損値	4	15.38%		
	合計	7	26.92%		
合計	26	100.00%			

### 医療的ケア

	度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント	
有効	必要ない	16	57.14%	84.21%	84.21%
	経管栄養が必要	0	0.00%	0.00%	84.21%
	たんの吸引が必要	0	0.00%	0.00%	84.21%
	導尿が必要	3	10.71%	15.79%	100.00%
	その他	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	19	67.86%	100.00%	
欠損値	複数回答	5	17.86%		
	システム欠損	4	14.29%		
	合計	9	32.14%		
合計	28	100.00%			

### 日常生活での支障に対して受けている支援

		度数	列の合計 N %
日常生活での支障に対して受けている支援	福祉サービスを利用している	12	42.86%
	家族等から支援を受けている	11	39.29%
	その他	3	10.71%
	特に支援は受けていない	5	17.86%

### 福祉サービスを利用している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	16	57.14%	57.14%	57.14%
	はい	12	42.86%	42.86%	100.00%
	合計	28	100.00%	100.00%	

### 家族等から支援を受けている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	-154	-550.00%	-550.00%	-550.00%
	はい	182	650.00%	650.00%	100.00%
	合計	28	100.00%	100.00%	

### その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	25	89.29%	89.29%	89.29%
	はい	3	10.71%	10.71%	100.00%
	合計	28	100.00%	100.0	

### 特に支援は受けていない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	23	82.14%	82.14%	82.14%
	はい	5	17.86%	17.86%	100.00%
	合計	28	100.00%	100.00%	

### 現在、収入のある仕事を

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	仕事をしている	3	13.64%	15.79%	15.79%
	仕事をしていない	16	72.73%	84.21%	100.00%
	合計	19	86.36%	100.00%	
欠損値	システム欠損値	3	13.64%		
合計		22	100.00%		

### どのような仕事

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	正職員	1	0.34%	33.33%	33.33%
	正職員以外	1	0.34%	33.33%	66.67%
	自営業	0	0.00%	0.00%	66.67%
	作業所等で仕事	1	0.34%	33.33%	100.00%
	その他	0	0.00%	0.00%	100.00%
	合計	3	1.03%	100.00%	
欠損値	システム欠損値	289	98.97%		
合計		292	100.00%		